

## 12th ICCE Global Coach Conference 2019

森嶋 修

2019年10月30日から11月1日までの3日間、12th ICCE Global Coach Conference 2019が日本青年会館ホール、TEPIA イベントホールにて開催された。この学会は二年に一度開催されるコーチングの国際学会で、今回は来年に東京オリンピック・パラリンピックを控えた日本で開催された。また、Conference開催に合わせ、2日前（10月28日・29日）にはICCE リサーチフェアやコミュニティ・オブ・プラクティスの国際会議が同会場で開催されるなど、世界中のコーチング研究者が一堂に会する刺激的な一週間となった。

私はConference2日目に開催されたポスターセッションで発表をおこなった。今回は日本での開催ということもあり、国際学会ではあるが日本語セッションが多数用意され、ポスター発表も日本語で作成しても掲示可能と事前にアナウンスされていた。当然私は日本語で作成したポスターを掲示したが、参加者の多くは海外からの参加であったため、立ち止まってくれた海外研究者へは英語でポスターの内容を説明しディスカッション

を行った。私のポスターを見た、Jean Côté氏（ICCE メンバー）は「very interesting result !!」とポスターを一瞬見て立ち去ったが、彼が日本語のポスターを理解したかどうか、確認するのはタブーというものであろう。

今回、リサーチフェアとGlobal Coach Conferenceに参加して感じたことは、もっと情報を発信していくことの大切さだ。現時点で私は、コーチデベロッパー（コーチ育成者）という分野に関心を持ち、そちらの方面を研究しようと取り組んでいるが、もっと自分から積極的に情報を発信していくことに今後は取り組んでいきたい。

次回このConferenceはリスボンで2021年に開催されることが決まった。リスボンで開催されるConferenceでは、日本語セッションはおそらくないため英語での発表が求められるだろう（もしかしたらポルトガル語セッションはあるのかも）。今から準備をコツコツと始め、より多くの「very interesting」をもらえるもらえるように努めていきたい。

